



笠原清志立教大学名誉教授

の司会のもと尾崎会長の挨拶で始まり、笠原先生のお話の中で印象的だったのは、大平正芳首相が中国政府の強い要請から1979年12月中国を訪問した際のことです。日中関係や文化交流について日中友好ムードが高まる中、大平首相が「一時

的ムード、情緒的親近性、経済的利害、打算による日中関係の構築」に懸念を表面し、また「文化交流」の必要性、「相互理解と中・長期的な人材育成」によってこそ確固たる信頼の基盤が整備できると提言されたことです。昨年今年と佳節の年を迎えているなか、一衣帯水にして2000年にわたる歴史的、文化的な繋がりのみをもって理解し合えると安易に考えることの危険性を再確認しました。

講演会は質疑応答の後、午後8時に終了しました。

## 豊島区日本中国友好協会 2018年「春節を祝う会」



春節元旦(旧正月)翌日の2月17日(土)、午後1時30分から豊島区立生活産業プラザにて「春節を祝う会」が日中議員連盟との共催で開催され170名を超える方々が参加されました。

尾崎隆信会長、里中郁男日中友好促進豊島区議会議員連盟会長の挨拶の後、高野之夫豊島区長、木下広区議会議長、須藤誠東京都日中常務副会長からそれぞれ心のこもったご祝辞をいただきました。続いて加藤武司豊島区観光協会副会長による乾杯の発声で賑やかに祝う会は始まりました。

当日は朝から中国残留邦人の方々や有志による皆さんで水餃子1100個を作りました。他の料理と共にテーブルいっぱい並べられ、来場者も本場さながらの味に舌鼓を打っておりました。舞台では四川変面ショー、子供達によるダンス、中国民族衣装による踊り、歌や演奏などが催され、驚きと歓声で会場は益々熱気に包まれ盛り上がっていました。また今回は豊島区在住の中国残留邦人や家族の方々も参加され、高野区長みずからこれまでの苦労の日々を慰められ懇談されていたのが印象的でした。

お腹も一杯になったところで、恒例のお年玉プレゼント抽選会。方々で歓声とため息の漏れるなか、午後3時30分天沼友一実行委員長の挨拶で次回の再会を約して閉会となりました。

## 豊島区日本中国友好協会規約(抜粋)

### 【前文】

日中友好は、二千年来の歴史と永遠の未来を貫く民族の課題である。我々は、思想、信条、政党党派の違いを超えて、日中友好の一点に結集するものである。

この会は東京都豊島区において、日中友好平和条約の崇高な精神を一層発展させる重要な使命を担っている。そして、子々孫々、未来永劫わたる両国民の相互理解と友好を深め、アジアと世界の平和と繁栄に貢献するものである。

### 【目的】

第2条 この会は日本中国の相互理解を深め、もって日本とアジア及び世界の平和と繁栄に貢献することを目的とする。

### 【組織】

第3条 この会は全国連合組織である公益社団法人日本中国友好協会を構成する認定特定非営利活動法人東京都日本中国友好協会と連携する豊島区の組織である。

### 【会員】

第4条 この会の目的に賛同し、豊島区に居住・通勤・通学する個人及び法人を会員とする。ただし、他地域からの入会はこれを妨げない。

2会員は、入会金及び会費を納め、機関紙を購読する。

3会員は、この会の諸機関に対して発議し、役員を選び、また選ばれることができる。

### 【賛助会員】

第5条 この会の目的に賛同し、この会を支援する個人、団体及び法人またはその代表者を賛助会員とする。

# 豊島区日中友好協会 会報

No.23

●発行所 〒171-0014 豊島区池袋 4-8-2  
●事務局 ☎03-3984-6500

## ご挨拶

豊島区日中友好協会  
会長 尾崎隆信

今年は豊島区日中友好協会設立30周年という記念すべき佳節の年にあたります。1987年10月豊島区日中友好協会設立準備委員会を設置。幾度もの有志幹事会を重ねて、翌1988年2月21日午後3時、豊島区民センター4階会議室にて設立総会を開催するに至りました。

協会規約、役員選出、「日本中国友好協会」への加盟等々の議案はすべて承認されました。引き続きの設立パーティには180名の出席を得て、三木與志夫東京都日中友好協会会長、中村靖衆議院議員他、多くの方々からご祝辞を頂きました。

同年5月には第一次親善訪中団25名を派遣し、香港、桂林、広州を訪問するなど友好交流のスタートを切りました。1995年には北京市宣武区へ「日本と中国の子供達による“絵と字”を書く展覧会」に70名(内子供20名)を派遣しました。

これまでに29回の春節を祝う会、21回の日帰りバス旅行、15回の親善訪中、20回の経済交流会、その他講演会、国際交流のお神輿を担ぐ会をはじめ他団体への協力などの事業を行ってまいりました。

協会はより充実した活気溢れる友好活動を継続して次の40周年50周年を迎えられるよう会員一同頑張ってまいります。

また、今年は日中平和友好条約締結40周年という節目の年にもあたります。去る5月9日、安倍・李克強両首相による首脳会談が開かれ、冒頭、安倍首相からは「全面的な関係改善を進め、日中関係を新たな段階に押し上げていきたい」、李首相からは「ここ数年、両国は風雨を経て曲がり道をたどったが、風雲は過ぎ去り晴れ空となった・両国関係は正常な軌道に戻った」との発言がありました。

公正な経済秩序の構築、東アジアでインフラ協力を強化するための検討、海空連絡メカニズムの運用開始などいくつかの一致と合意がみられました。また国民間の往来を後押しし文化交流を進めることを確認しました。そして安倍首相の年内訪中と、その後の習近平国家主席の訪日と着実にハイレベル往来を積み重ねていくことで一致しております。

アジアにおいて日本と中国は切り離せないほどの深い相互補完関係となっております。豊島区日中友好協会規約前文に「この会は日中友好平和条約の崇高な精神を一層発展させる重要な使命を担っている。そして、子々孫々、未来永劫にわたる両国民の相互理解と友好を深め、アジアと世界の平和と繁栄に貢献するものである。(一部略)」と謳っております。

私ども豊島区日本中国友好協会はこの精神を忘れることなく、次の世代に伝えてまいります。